



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 山九株式会社

コード番号 9065 URL <http://www.sankyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 信久

TEL 03-3536-3939

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	202,324	2.9	9,904	3.5	9,845	2.5	4,963	△11.3
24年3月期第2四半期	196,595	5.7	9,572	△0.7	9,606	9.1	5,594	32.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,158百万円 (△22.9%) 24年3月期第2四半期 5,394百万円 (158.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.99	—
24年3月期第2四半期	18.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	302,634	115,451	37.3
24年3月期	309,484	113,880	36.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 112,820百万円 24年3月期 111,491百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	412,000	4.0	19,200	3.9	19,000	4.0	10,700	17.6	34.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報(その他)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	326,078,030 株	24年3月期	326,078,030 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	15,703,042 株	24年3月期	15,689,629 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	310,382,806 株	24年3月期2Q	310,417,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務危機が深刻化したことによりユーロ圏全体で景気後退が進み、また米国の景況感にも陰りが見えはじめております。中国では内外需要が鈍化した上に景気減速の懸念が強まっており、その他主要な新興国でも停滞感が強まりました。日本国内では、世界経済の減速と円高が生産や設備投資にも影響を及ぼして景気回復は足踏み状態となりました。

このような経済情勢下、当社連結グループにおいては、物流事業分野では3PL（一括物流）事業を中心に売上拡大に取り組みましたが、一部のお客様について取引の契約内容を変更したことが売上高の減少に影響しております。一方、機工事業分野ではお客様の大型設備の改修工事が完工したことやSDM（大型定期修理工事）などの工事量が増加しました。

その中で従来に増して、当社連結グループは競争力のあるコスト構造を創り出すこと、売上拡大を図ることで収益を生み出せる体質の強化を推進しております。原価率の一層の低減と間接経費の削減をこれまで以上に推進することなどで、収益体質の強化に取り組んでおります。

また、売上拡大に向けて、お客様のアウトソーシングニーズに対応すべく、3PL、3PM（一括メンテナンス）などの各事業分野の専門性を活かし、国内だけでなく海外での一層の競争力の強化と生産性・作業品質・安全品質の向上に取り組み、グローバルな事業拡大に向けた施策を積極的に展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,023億24百万円と前年同期比2.9%の増収となりました。また、利益面においては営業利益が99億4百万円と3.5%の増益、経常利益は98億45百万円と2.5%の増益となるも、有価証券評価損等の計上で四半期純利益は49億63百万円と11.3%の減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 物流事業

港湾・国際物流は、日中貿易などの取扱いの鈍化の影響を受けて、コンテナの取扱量が前年同期水準までに回復せず、また流通分野や倉庫の取扱貨物も減少するなど低調に推移しました。さらに家電関連の調達代行業務に関する取引の契約内容を変更したことが、売上高の減少に影響しております。一方、海外では東アジア地域で連結子会社化した上海経貿山九儲運有限公司の増加分もあったことから、売上高が増加することとなりました。

3PL・一般物流は、新規案件の開始による取扱量の増加はあるものの、内外需要の弱さなどからお客様の生産量・販売量が計画量を下回ったことなどにより、作業収益面では厳しい状況となっております。

お客様構内の作業は、石化関連のお客様設備のトラブルにより長期に亘り生産が停止するなどの影響もありましたが、国内では鉄鋼、石油・石化関連の構内作業全体で概ね前年同期並みの作業量となりました。一方、海外では南米地域で鉄鋼関連のお客様作業の一部が終了したことや円高の影響を受けたことで売上高が減少しております。

売上高は1,067億42百万円と前年同期比2.6%の減収、セグメント利益（営業利益）は17億円と前年同期比28.9%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は52.8%であります。

#### ② 機工事業

設備工事は、国内では鉄鋼関連のお客様の高炉改修など大型設備工事が完工したことや震災復旧関連の大規模な案件が完工したことなどで工事量が増加しました。また、海外では東アジア地域で連結子会社化した上海山九設備安装工程有限公司の増加分もあったことなどから、国内外合わせて前年同期を大きく上回る売上高となりました。

保全作業は、お客様の設備を安定操業させる為の需要が高く、国内ではSDMなどの工事が増加しました。一方、海外ではSDMが端境期となっており僅かながら工事が減少しております。

売上高は855億93百万円と前年同期比10.4%の増収、セグメント利益（営業利益）は75億25百万円と前年同期比12.6%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は42.3%であります。

### ③ その他

その他は、機工事業での高炉改修工事や発電所関連工事などの仮設材賃貸が増加しております。

売上高は99億88百万円と前年同期比5.1%の増収、セグメント利益（営業利益）は5億45百万円と前年同期比29.3%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.9%であります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,335億39百万円であり、前連結会計年度末に比べ75億30百万円と5.3%減少しました。主な要因は、手許資金圧縮による現預金残高の減少、売掛債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,690億94百万円であり、前連結会計年度末に比べ6億80百万円と0.4%増加しました。主な要因は、設備投資による有形固定資産の増加等によるものです。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,099億2百万円であり、前連結会計年度末に比べ116億49百万円と9.6%減少しました。主な要因は、手許現預金の圧縮により、短期借入金を返済したことによるものです。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は772億80百万円であり、前連結会計年度末に比べ32億28百万円と4.4%増加しました。主な要因は、設備投資等に係る長期借入金を調達したことによるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,154億51百万円であり、前連結会計年度末に比べ15億71百万円と1.4%増加しました。主な要因は、株式市場の低迷によりその他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を1.3ポイント上回る37.3%となっております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期終了時点における業績は概ね計画通りに推移しており、通期業績につきましては、現在のところ平成24年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更、会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計処理の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,471	15,874
受取手形及び売掛金	105,642	102,861
有価証券	1,851	1,442
未成作業支出金	2,256	3,149
その他	9,898	10,258
貸倒引当金	△49	△47
流動資産合計	141,070	133,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,218	51,046
土地	48,735	48,887
その他(純額)	20,305	23,467
有形固定資産合計	121,258	123,400
無形固定資産		
のれん	1,893	1,689
その他	6,605	6,842
無形固定資産合計	8,498	8,532
投資その他の資産		
投資有価証券	18,104	16,739
その他	21,882	21,796
貸倒引当金	△1,330	△1,374
投資その他の資産合計	38,656	37,161
固定資産合計	168,413	169,094
資産合計	309,484	302,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,663	57,628
短期借入金	36,184	26,311
未払法人税等	4,626	4,227
未成作業受入金	308	550
賞与引当金	3,574	1,666
その他	19,193	19,518
流動負債合計	121,551	109,902
固定負債		
長期借入金	26,406	30,944
退職給付引当金	33,321	31,925
その他	14,324	14,410
固定負債合計	74,051	77,280
負債合計	195,603	187,182
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	11,943	11,943
利益剰余金	80,643	82,924
自己株式	△5,713	△5,716
株主資本合計	115,493	117,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,781	3,030
繰延ヘッジ損益	△254	△291
土地再評価差額金	△1,755	△1,732
為替換算調整勘定	△5,774	△5,957
その他の包括利益累計額合計	△4,002	△4,950
少数株主持分	2,388	2,630
純資産合計	113,880	115,451
負債純資産合計	309,484	302,634



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	196,595	202,324
売上原価	181,423	186,051
売上総利益	15,172	16,273
販売費及び一般管理費	5,599	6,368
営業利益	9,572	9,904
営業外収益		
受取利息	235	192
受取配当金	374	276
その他	694	425
営業外収益合計	1,304	893
営業外費用		
支払利息	457	469
その他	812	483
営業外費用合計	1,270	953
経常利益	9,606	9,845
特別利益		
段階取得に係る差益	375	—
特別利益合計	375	—
特別損失		
投資有価証券評価損	232	693
特別損失合計	232	693
税金等調整前四半期純利益	9,749	9,151
法人税等	4,079	4,003
少数株主損益調整前四半期純利益	5,670	5,148
少数株主利益	75	185
四半期純利益	5,594	4,963

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,670	5,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△843	△749
繰延ヘッジ損益	△16	△37
為替換算調整勘定	538	△202
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△1
その他の包括利益合計	△275	△989
四半期包括利益	5,394	4,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,303	3,992
少数株主に係る四半期包括利益	91	166

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,749	9,151
減価償却費	5,612	5,707
のれん及び負ののれん償却額	△20	205
受取利息及び受取配当金	△609	△468
支払利息	457	469
段階取得に係る差損益(△は益)	△375	—
投資有価証券評価損益(△は益)	232	693
売上債権の増減額(△は増加)	△3,563	3,088
未成作業受入金の増減額(△は減少)	52	△156
仕入債務の増減額(△は減少)	3,260	△116
未成作業支出金の増減額(△は増加)	△758	△877
その他	△2,587	△2,670
小計	11,450	15,027
利息及び配当金の受取額	540	506
利息の支払額	△457	△468
法人税等の支払額	△2,308	△4,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,225	10,464
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,267	△6,164
無形固定資産の取得による支出	△1,110	△791
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,487	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	992	—
その他	△745	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,617	△7,048
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	93,852	102,949
短期借入金の返済による支出	△96,679	△112,788
長期借入れによる収入	8,781	9,700
長期借入金の返済による支出	△4,088	△5,254
配当金の支払額	△2,786	△2,787
その他	△1,794	△1,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,716	△9,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△911	△6,512
現金及び現金同等物の期首残高	17,932	21,394
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	804
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,020	15,686

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	109,585	77,507	187,092	9,502	196,595	—	196,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,920	1,726	4,646	3,024	7,670	△7,670	—
計	112,505	79,233	191,739	12,527	204,266	△7,670	196,595
セグメント利益	2,390	6,680	9,071	421	9,493	79	9,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額79百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	106,742	85,593	192,335	9,988	202,324	—	202,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,948	2,465	5,413	3,681	9,095	△9,095	—
計	109,690	88,059	197,749	13,670	211,419	△9,095	202,324
セグメント利益	1,700	7,525	9,225	545	9,771	133	9,904

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額133百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 【関連情報】

## 地域ごとの情報

## 売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
174,440	14,994	7,160	196,595

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注) 2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア

・・・東アジア（中国、香港、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域　・・・米国、ブラジル、欧州、その他の地域

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
177,481	19,265	5,577	202,324

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注) 2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア

・・・東アジア（中国、香港、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域　・・・米国、ブラジル、欧州、その他の地域

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。